

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	三芳町					
提案事業名	MIYOSHIオリンピックアード推進事業					
事業期間	31年度 ~ 31年度					
成果指標	(成果を検証する指標) スポーツ・レクリエーション事業等への参加率					
	(成果検証の具体的な方法) 町が主催する生涯スポーツ事業に参加した人数割合(小学生以上の町の人口)					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (30年3月時点)	5.9%	目標値 (2年3月時点)	7.0%	実績値 (2年3月時点)	8.1%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	100,500人 11,483人	利用率 (%)	(目標) (実績)	85% 39.3%
住民への公表状況 及び特記事項		広報・HP等				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成31年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① オリンピックキャンプ推進事業	○	令和元年度は世界柔道選手権東京大会における事前キャンプ、会場への応援ツアーなど交流を深めた。令和2年度は新型コロナウイルスの影響もある中で、オンラインによるホストタウン交流を実現した。
② 総合体育館床改修事業	○	総合体育館の床改修後、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあったが、106,348人(アリーナのみ27,902人)が体育館を利用している。多様目での利用が可能となり、今後の利用の拡充が期待される。
③ MIYOSHI文化発信事業	○	新型コロナウイルスの影響下であり、オンライン事業としてマレーシアとの交流会を実施。令和3年度に延期されたオリンピック・パラリンピック期間中にも、オンラインを活用した交流を予定。

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	新型コロナウイルスが流行する中で、オンライン等の活用により、事業を実施。オリンピックパラリンピック開催に向けて交流を図ることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中で、アフターコロナを見据えて更なる拡充をさせ実施していく。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	オリンピック・パラリンピック開催中における立志事業を実施する。幅広い分野において、地域住民や関係団体等と連携し、三芳町におけるレガシーを構築し、町の更なる発展を目指す。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない